

競技注意事項

2019 愛知選手権

1 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1)ユニフォームの胸、背に確実につける。走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでもよい。走幅跳、三段跳は、胸につけるだけでもよい。
- (2)トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3)腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1)ウォーミングアップ場としてパロマ瑞穂北陸上競技場を最終種目の招集開始時刻まで使用できる。
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
- (2)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3)パロマ瑞穂スタジアム2階室内雨天走路の使用は別ページの使用ルールを厳守する。また天候などによっては、使用ルールを変更する場合があるので競技役員の指示に従う。
- (4)本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、**出場競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで**使用できる。
- (5)北陸上競技場において、直走路でのスターティングブロックの使用は100mHの練習を除き、**110mHのスタートライン**から行うこと。（事故防止・安全確保の措置）
- (6)使用した器具は、各自で責任を持って片づけること。

4 招集について

- (1)招集所は正面スタンド下、**100mスタート付近競技者ホール**に設ける。
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3)招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
跳躍競技	走幅跳 三段跳 走高跳	50分前	40分前
	棒高跳	100分前	90分前
投てき競技	砲丸投 ハンマー投	40分前	30分前
	円盤投 やり投	50分前	40分前

- (4)他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

5 競技場への入退場について

- (1)入場は、すべて招集所から係の誘導によって行う。
 - (2)退場は、下記による。
 - ・トラック競技 フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路（全天候）を経て退場する。
または、スパイクシューズを脱いで1階中通路を通ってもよい。
※ただし、決勝において1～3位の入賞者はフィニッシュ地点待機所から係（マーシャル）によって表彰室へ誘導する。
- ※決勝においては、衣類をフィニッシュ地点へ運搬する場合がある。
（予選・準決勝は運搬しない。）

・フィールド競技 競技役員の指示・誘導による。

※決勝において1～3位の入賞者は、競技終了後フィールド審判員によって表彰室に誘導する。

6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

7 トラック競技の次ラウンドへの進出決定について

- (1) タイムにより次のラウンドに進む場合の決定について、同記録がありレーン数が不足する時は、写真判定主任が0.001秒の実時間を考慮して決定する。それでも決定できない時は抽選を行う。
(競技規則第167条2)
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスしてから10分以内に本部へ集合する。
- (3) 進出決定者は、アナウンス及び大型ビジョン、スタンド正面階段上の掲示板で発表する。

8 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① すべて写真判定装置を使用する。
 - ② 本大会のスタート動作における競技規則については、国内ルールを適用する。
 - ③ レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ④ 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン(曲走路)を走って止まる。
- (2) フィールド競技について
 - ① 棒高跳を除いて、一部試技時間が変更されました。(30秒⇒1分)
 - ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ② フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
 - ③ 三段跳の踏切板は、男子12m・女子10mで行う。
 - ④ 走高跳・走幅跳は2ピットを使用して行う。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。
- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄黒色(斜め半分形)のカード、除外は赤黒色(斜め半分形)のカードを示すことによって競技者に知らされる。

9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(天候等の状況により変更することがある。)

	練習	1	2	3	4	5	6	
女子走高跳	1m40又は1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後3cm
男子走高跳	1m80又は2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	以後3cm
女子棒高跳	2m10又は2m40	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	以後10cm
男子棒高跳	4m10又は4m80	4m20	4m40	4m60	4m70	4m80	4m90	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行う。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

※棒高跳の競技者は招集時に「棒高跳支柱位置申請」を行う。

10 競技用器具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては競技場にはないもの、もしくは1つしかないものは持ち込みを認めるので、希望者は招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫(フィニッシュ付近)でやりの検定を受けること。検定に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競

技者間で共有できるものとする。

11 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。

12 表彰について

- (1) 各種目の優勝者には選手権賞・賞状・メダル、2・3位には賞状・メダル、4～8位には賞状を授与する。
- (2) 1～3位に対して表彰式を行うので、競技終了後各競技役員の誘導で表彰室に集合すること。4～8位入賞者は成績発表後、本部表彰室にて各自受け取ること。
- (3) 本大会において優秀な成績を収めた競技者、男女各1名に最優秀選手賞を授与する。発表後、表彰室へ集合すること。

13 東海選手権大会の申込みについて

- (1) この大会の8位までの入賞者に参加資格が与えられる。
出場を希望する競技者は、15日(月)までに本部で申し込みを完了すること。過日終了のリレー・長距離種目についても同様に申し込む。
- (2) やむを得ない事情でこの大会に出場できなかった競技者は、選考のうえ推薦する場合もあるので、本大会終了までに愛知陸協要覧添付の「推薦依頼書」を作成し、提出する。
この場合、愛知選手権に出場できなかった理由を推薦理由とあわせて記入する。故障などの理由によるものは、正当なものとして扱わない。その他、詳細は要覧に記載のとおり。

14 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) 開門時刻前には立ち入らない。
- (2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張ってはならない。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行き、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないように互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

15 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型ビジョンを活用して運営を行うので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出ること。
- (2) 商標等の規則について、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に違反したものは、主催者で処置する。
- (3) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (4) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、主催者は責任を負わない。
- (5) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受ける。**なお、**応急処置後の治療は、本人負担とする。**
- (6) 記録証は、記録室へ400円(送料込み)を添えて申し込む。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎メインスタンド両側3階通路より下段のブルーベンチ。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

雨天走路使用上の注意

- ① 危険防止のため、なるべく北競技場でウォーミング・アップを行うこと。
- ② レーンの使い方
 - a 図のように、外側2レーンを歩行とジョグに使用する。
 - b 内側1レーンを走行レーンとする。ただし、『北→南』の一方通行とする。
- ③ 選手・監督以外の人には立ち入らない。
- ④ スタンド、スタンド下の控え場所に移動する場合には、両サイドから歩行レーンを使用する。
- ⑤ 練習をする場合には、周囲に注意し、スピードをひかえて、怪我をしないようにする。

